

科目番号	53002	分類	共通科目		履修者	看護科学コース		学年	1
科目名	看護政策特論 ( Advanced Course in Nursing Policy )							1	15
								配当シスター	
								通年	
担当者	○草間 朋子			区分	選択	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
看護を取り巻く課題と課題解決に向けた制度・政策実現のプロセスについて、看護学及び関連領域の研究者や行政官など、実際の政策や制度の形成過程に携わる実践家からの講義を通して学ぶ。また、各自の臨床経験等を通して得た政策課題・問題点を整理・抽出し、解決策を考えてみる。 1) 看護を取り巻く制度・政策の実際と決定プロセスを理解する 2) 制度・政策の現状を理解したうえで、課題・問題点を整理し、解決策を提言できる能力を習得する							○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力	
							○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力	
							○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力	
							○	4. 看護管理者として、臨床現場においてリーダーシップをとりながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力	
								5. 実践を行いながら学部学生の臨床実習を指導できる能力	
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
第1～3回	オリエンテーション/看護政策学概論（看護関連法令を含む）								草間
第4回	保健医療政策形成過程の現状と課題								
第5回	現場の課題を抽出し、改善と政策に反映する方法								
第6～7回	日本看護連盟と日本看護協会の役割								
第8～10回	NPO等の役割（国内・国外の活動を含む）								
第11回	看護政策学特論演習 1 <政策課題の抽出・明確化>								
第12回	看護政策学特論演習 2 <解決方策の検討>								
第13回	看護政策学特論演習 3 <プレゼンテーション準備>								
第14～15回	看護政策学特論演習 4 <プレゼンテーション>								
事前・事後学習	事前学習として、現場の課題に対して関心を持ち、課題を明らかにし、言語化しておく。 事後学習として、常に自ら課題解決していく姿勢を堅持できるよう努める 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み込むこと。								
評価の方法	出席状況：50% プレゼンテーションまでの準備状況・発表内容およびディスカッションの状況：50% フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等									
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								